

## 2023/5/20学校説明会後にいただいた質問への回答ver.1

学校説明会に来場いただき、ありがとうございました。事後アンケートでご質問いただきました内容を拝見し、お答えできる範囲ではありますが、回答いたします。次回10月14日（土）に行いますオープンキャンパスでは、ご質問いただいた内容も踏まえつつ、お話しできればと思います。当日のご参加を心からお待ちしています。

### 在校生の1日や一週間の時間の使い方、勉強のルーティン（予習・復習・宿題）について

在校生の1日については、「2024学校案内【パンフレット】」<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/files/201605/doc/138290/4854920.pdf> p15-16をご覧ください。なお、1週間のうち、7時間授業が、1年生は1日、2年生は2日、3年生は3日設けられています。授業は自分のクラスの教室で受けたり、特別教室で受けたりと様々です。勉強のルーティンについては、「2024学校案内【パンフレット】」p15の在校生からのメッセージをご覧ください。確かに、宿題は多いと思います。そこで、大切になるのは「時間管理」です。起床時間・家庭学習の時間・就寝時間をきちんと守る「三点固定」は、勉強の基本といえます。家庭学習時間を、目安として週15時間（平日2時間、土日で5時間）確保して、学習習慣を身に付けてください。

### 授業の特色について（英語は少人数制とありましたが、レベル別授業なのでしょうかなど）

授業の特色について、1・2年生数学と英語で少人数学習を行っています。基本的に同レベルでの分割授業です。ただし、学習が進むにつれて、レベル別に編成して取り組むこともあります。数学については、3年生の後期から、高校の先生方に授業を担当してもらい、高校数学の内容に入ります。高校の学びへのリードをつくることで、高校数学でのより深い学びにつなげます。英語については、中学生の英語学習の目標の一つに“東京F Wで外国人留学生の方とディスカッションする”があります。「話すために英語を学ぶ」を目指して、勉強していきましょう。なお、7時間授業で授業時間が増えている分は、主に国語・数学・英語に配分されています。国語・英語でも3年生の後期から高校の先生に授業をもらい、中学校の学びを深めて高校の学びにつなげます。ほかにも、3年生の数学、1・2・3年生の理科にも高校の先生にT T（チーム・ティーチング）で週1時間入ってもらい、学びを深めたり、実験したりする支援をしてもらいます。

### 学習のフォロー体制について（勉強で分からない事があった時、分かるまで聞いていいのですか？夏休みに補習授業などがありますか？）

学習へのフォロー体制については、「2024学校案内【パンフレット】」<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/files/201605/doc/138290/4854920.pdf> p15-16をご覧ください。また、西京高等学校附属中学校HP2023.6.8「テスト前サテライト→C R e D iの日」をご覧ください。質問ができる機会として主なものは、「（定期）テスト前サテライト」「懇談裏サテライト」「サマーサテライト（夏休み補習）」「進学サテライト（3年生のみ）」があります。何より、わからないところがあれば、先生方に質問すれば丁寧に教えてくださいます。ただし、「わからないから全て教えてもらおう」というのは、西京では基本的に見られません。どこがわからないのか、それをどう克服しようとしたがうまくいかなかった、それはなぜか。自分なりに考えたことを説明し、足りないところがあるどこかを粘り強く探そうとする姿勢がまず求められます。

### 在校生の方への質問について（小学生の頃の時間の使い方はどうでしたか？）

ぜひ10月14日（土）のオープンキャンパスで、直接在校生にお聞きください。オープンキャンパス当日は、直接お話しできるブースを用意しています。ただし、生徒それぞれによって取り組んできたことや、考えてきたことは異なります。また、お話しいただく時間に限りがあります。予めご了承ください。

## E P A（ミッション）について（東京FWでの取組、どのような企業などに訪問されたのか、希望するところに行けるのかなど）

E P Aについては、「2024学校案内【パンフレット】」<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/files/201605/doc/138290/4854920.pdf> p11-12をご覧ください。令和4年度東京 F Wでの企業・官公庁・大学の訪問先は、次の通りです。なお、訪問先へは自分たちで電話し、アポイントを取ります。希望通り受け入れてもらえるかは、自分たち次第です。

### 【企業】（順不同）

スカパー J S A T、クラスター株式会社広報部、株式会社Co2資源化研究所、株式会社セブン・イレブン・ジャパン教育推進部、株式会社パソナ H S、株式会社ジーエスアイ、日本郵便株式会社郵便・物流事業企画部切手・葉書室、株式会社アドウェイズ広報戦略室、ブリヂストン株式会社、株式会社ブイキューブ CIESF、株式会社東京トラベルパートナーズ、放送技術社本社管理部、株式会社USEN、株式会社COMP、GROOVE X株式会社、LOVOT MUSEUM、アストロスケール株式会社ホールディングス、SNOWJapan株式会社、GROOVE X株式会社、株式会社吉香翻訳部門吉香外国語センター、株式会社ASTRO FLASH、株式会社ニシカワマーケティング、ソフトバンクロボティクスSoftbank Collaboration Lab、株式会社demmpa、NACS-J日本自然保護協会、太陽工業株式会社、理研ビタミン株式会社CSR推進部、株式会社アニメイト、株式会社エコロジー海外教育研究所、ユニロボット株式会社、東レ株式会社CSR推進部、unbound株式会社、株式会社 エフエム東京編成制作局編成部、株式会社エイチ・アイ・エス経営管理本部広報室、森トラスト株式会社広報部、SPACEWALKER、株式会社EVISION、株式会社集英社広報部、日本電気株式会社、AI・アナリティクス事業総括部、株式会社スモールブリッジ、パーソルフィールドスタッフ、株式会社コーポレート本部人事室、ALE株式会社、エアモビリティ株式会社、ハイジェント株式会社、ANA NEO株式会社、プライドハウス東京レガシー、イオンモールキッズドリーム合同会社、株式会社ビズリーチ

### 【大学】（順不同）

東洋大学白山キャンパス社会学科、東京工業大学環境社会理工学院、早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター・GSセンター、武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科、東京大学教育学研究科教育内容開発コース、東京大学大月研究室、聖心女子大学、東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター、上智大学実践宗教学研究科死生学専攻事務室

※留学生とのディスカッションで協力いただいた大学→早稲田大学、立教大学、法政大学

### 【官公庁、公共施設、団体ほか】（順不同）

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室、地下鉄博物館、外務省民間援助連携室、厚生労働省職業安定局書記室、デジタル庁戦略・組織グループ、法務省大臣官房秘書国際室、環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室、環境省サステナブルファッション課、恩賜上野動物園教育普及係職場訪問課、気象科学館、国土交通省航空局無人航空機安全課、日本国際交流センター・シニアプログラムオフィサー、公益社団法人著作権情報センター、有志団体Dream On、昆虫料理研究家、樹木・環境ネットワーク協会、LOVOT MUSEUM、NPO法人Healthy Children・Healthy Lives、観光庁国際観光部国際観光課、国立科学博物館附属自然教育園、JICA地球ひろば

※以前、ミッションで介護施設への体験を行っていましたが、昨今の事情から、高齢者の方の体調への影響を鑑み、取り組みを再開する予定は今のところありません。

## 授業以外の活動（生徒会活動、部活動、外部での活動など）

生徒会活動について、学校 H P <https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=201605&no=4> 5月18日「第2回代表専門委員会」をご覧ください。6月には「生徒総会」が行われます。より良い学校生活を送るため、自分たちがどのように学校運営に関わるのかを考える大切な全校集会です。学校の取組を自分事として考え、課題を解決するためにどうすべきかを方向付けすることは、社会人力を身に付け、グローバルリーダーシップを目指すうえで必ず役に立ちます。引き続き、学校 H P にて活動を紹介していきます。

部活動について、さらには外部での活動について、多くの生徒がそれぞれの個性や能力を生かして、様々な分野で活躍してくれています。詳細については、学校 H P 「令和4年度表彰実績」<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/files/201605/doc/150219/4892372.pdf> をご覧ください。なお、表彰に関わらず、様々な分野に関心をもって取り組んでいる生徒がたくさんいます。勉強と両立しながらも、自分の好きなことや関心のあることに挑戦することを、応援していきたいと思います。なお、令和5年度に開催されるコンクールや検定などを、学校 H P 「R5募集・検定案内」<https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/files/201605/doc/149299/4892210.pdf>（ただし、このリンクは6月9日時点のもので、随時更新しています）にて紹介しています。中学校に入ったら、自分でリストにある U R L を検索して、どんどん応募してみてください。

## 10月14日（土）オープンキャンパスについて（受検説明会を兼ねていますか？）

オープンキャンパスでは、選考に向けての手続き等、詳しく説明いたします。また、小学校6年生の皆さんには、本校1年生の生徒が直接、学校生活について具体的に説明いたします。さらに、「入学者募集要項」「出願のしかた」の冊子をこの日に配布します。なお、オープンキャンパスに参加できなかった方も、翌月曜日から、平日9時から17時の間、本校1階事務室にて、オープンキャンパスで配布した資料を受け取ることができます。

## 選考基準について

選考基準については、初秋に「令和6年度入学者募集要項」が京都市教育委員会から公報されます。現在調整中ですので、今しばらくお待ちください。参考として、京都市教育委員会HP <https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/>から「市立高校改革・中高一貫教育」→「中高一貫教育（西京高校附属中学校・高校）」（入ると同じ項目が出てきますので再度クリックしてください）→「令和5年度入学者募集要項」をご覧ください。また、詳しくはオープンキャンパスにて説明します。

## 京都市外に在住の方で、本校受検をお考えの方へ

京都市外にお住まいの方は、原則受検資格がありません。事情がおありの方、今後転居を検討される方は、必要な情報について、まずは京都市教育委員会学校指導課高校担当（075-222-3811）に電話し、ご確認ください。多くの場合、「特別事情具申」の手続きが必要です。また、海外の学校にお子様が通っていた場合も同様にお問い合わせください。